

高津川水系流域治水プロジェクト2.0 に係る各機関の取組状況



- 流域治水プロジェクトの取組内容の中から、各機関の主な取組について、実施箇所や実施状況等を取りまとめたものです。
- 「流域治水」の取組の分類ごとに、タイトルの色を下記の通り分類しています。

タイトルの色分け(流域治水の取組)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

「雨水を貯める」、「洪水を流す」及び「氾濫水を減らす」対策を実施し、洪水を安全に流し、氾濫を発生しにくくするための取組です。

被害対象を減少させるための対策

「災害リスクがより低い区域への誘導・住まい方の工夫」、「浸水範囲の限定」に係る対策を実施し、浸水の拡大を防ぎ、被害を最小化するための取組です。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

「避難」や「経済被害軽減」の対策を実施し、避難に係る情報の充実、経済被害の最小化、被災後しても早期に復旧・復興するための取組です。

グリーンインフラの取組

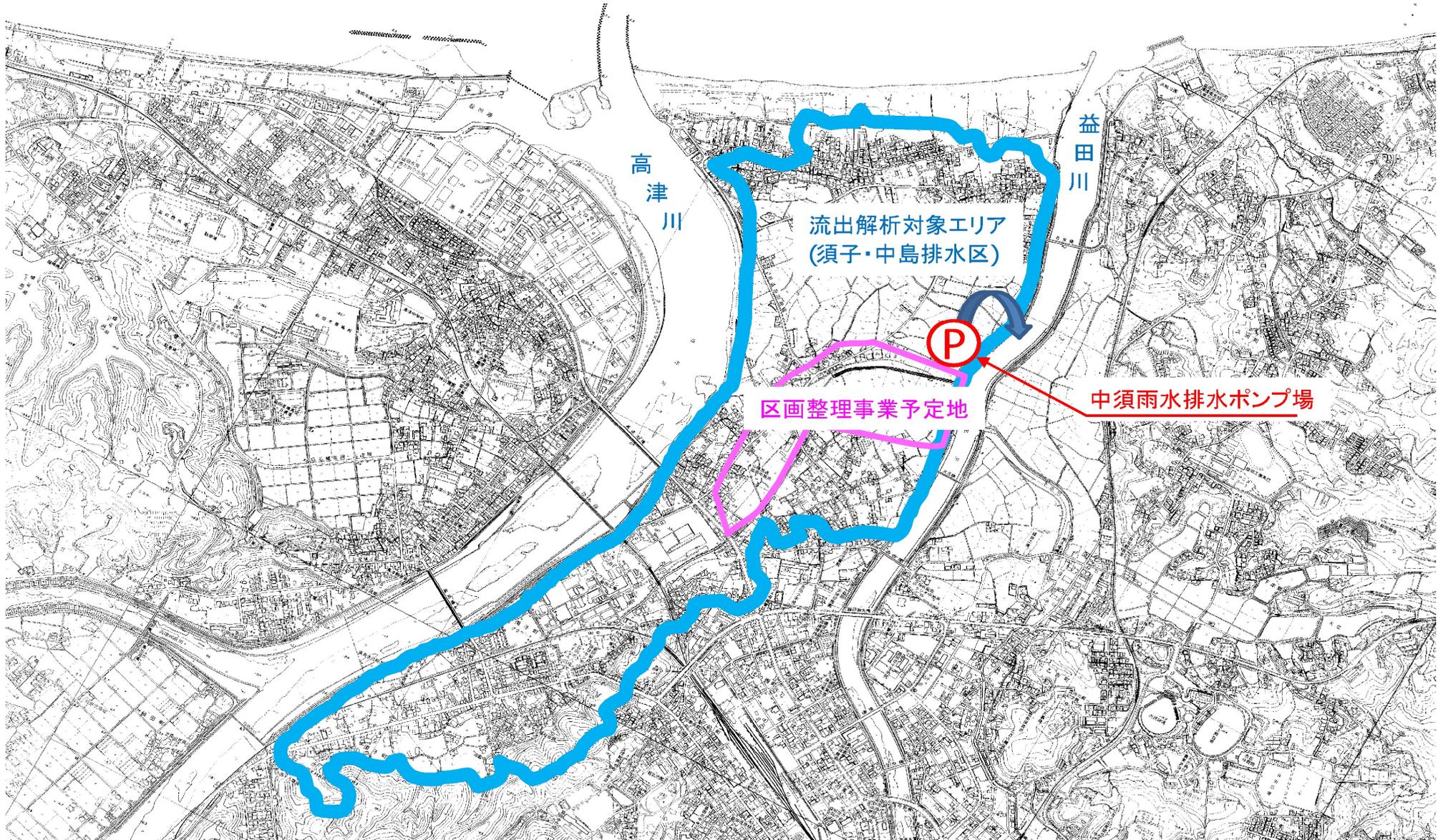
「治水対策における多自然かわづくり」、「魅力ある水辺空間・賑わい創出」を実施し、自然環境が有する多様な機能を活用するための取組です。

益田市

本市においては、高津川下流域の低平地に市街地が形成されていることから、大部分が洪水により被災することが想定されます。特に人口や要支援施設（老人福祉施設・保育園等）の集中する、高津川と益田川に挟まれるエリアには高台等が無く、避難所の空白地となっています。そのような状況を鑑み、「被害対象を減少させるための対策」として、益田道路（久城～高津）の隣接地に一時避難が可能となる高台の中吉田公園を整備します。



本市の須子・中島排水区においては、豪雨時の内水氾濫により被災することが想定されます。特に当該排水区は人口や要支援施設が集中している区域でもあることから「被害対象を減少させるための対策」として、既存ポンプ場の増強などの対策を検討し、内水氾濫の軽減を図るよう努めます。



津和野町

- ・流域治水の取り組みとして、津和野町中山・長福地区において「田んぼダム」の取り組みを実施しています。
- ・「田んぼダム」は、田んぼが持っている水を貯める機能を利用して、大雨の際に田んぼに水を貯め、ゆっくりと排水することで、水路や河川の水位の急激な上昇を抑え、農地や市街地の洪水被害を軽減しようという取り組みです。

位置図



田んぼダム実施位置



パイプを上下させて田んぼ内の貯留量を調節します。



排水口

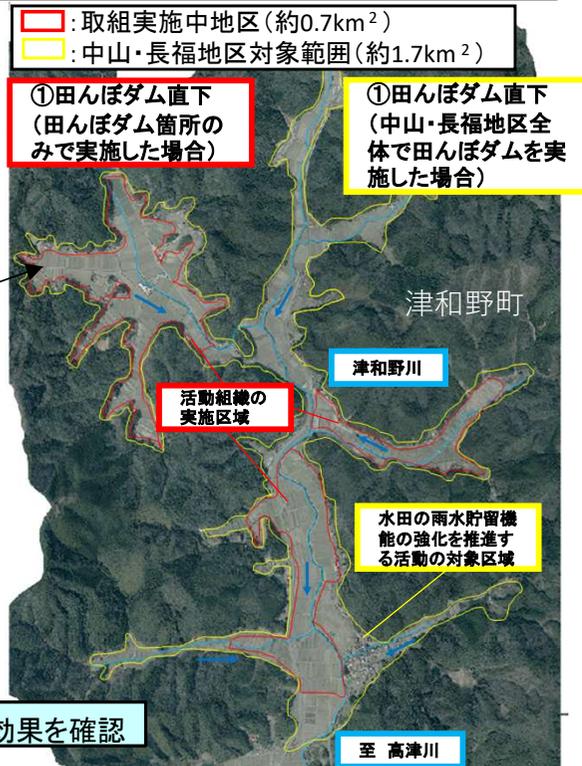
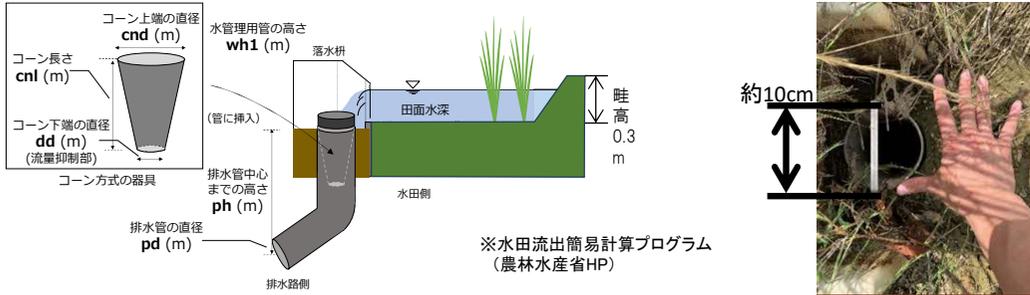
「田んぼダム」の実施イメージ



取り組み地区における課題

- ・田んぼの貯留状況は、6月中旬～7月上旬までは中干期間、7月上旬～は浅水期間のため、この期間に貯水することはしていない。そのため、雨が降りやすい7月上旬において田んぼダムを実施することが難しい状況となっている。
- ・高齢者も多く、手間もかかるため、農家負担を最小限にし、交付金等の活用による継続的な支援体制の構築が必要とされる。

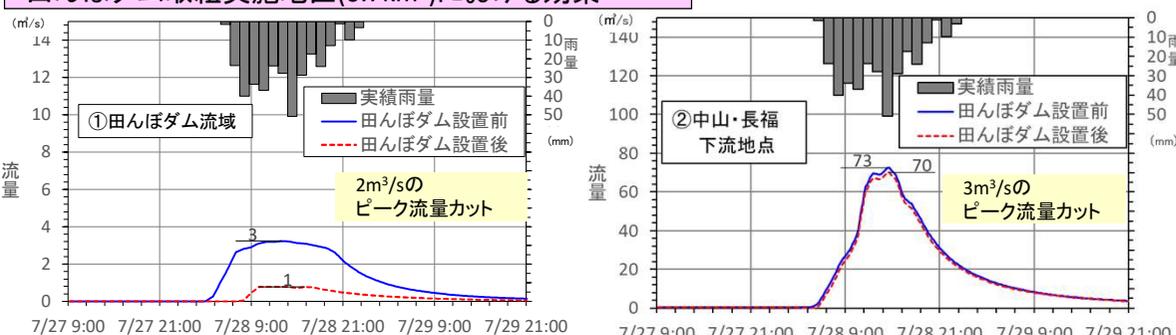
- ・津和野町中山・長福地区において、取り組み実施している地区において田んぼダムの効果を流出計算により算出しました。
- ・記録的な豪雨が発生した平成25年7月降雨では、現在取組中の地区のみで田んぼダムを実施した場合、中山・長福地区下流地点で約5cm、一方、地区全体で田んぼダムを実施した場合、約12cmの水位低減効果が確認されました。



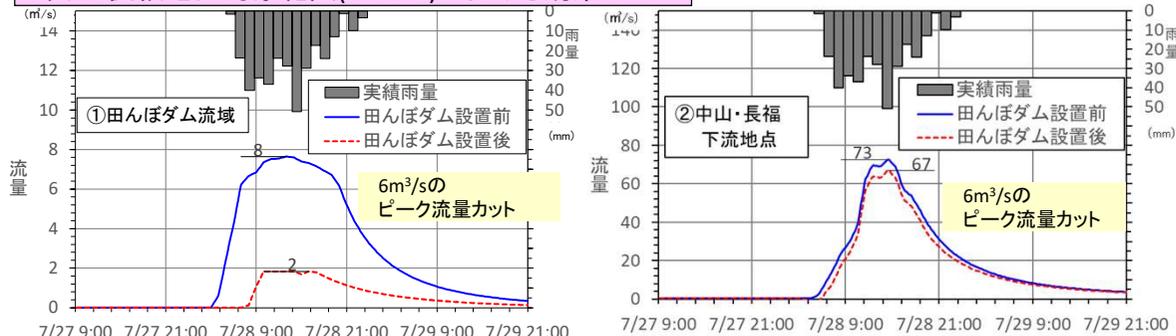
⇒ 田んぼの湛水位が約10cm (最も湛水がある深水管理時期 (水深10~15cm: 島根県HP)) を想定し、貯留水深25cm (畦高-余裕高=(30cm-5cm※)) とした。
中干期や稲刈り前などの水田を乾かす必要があるときは貯留が困難 ※田んぼダムの手引きR4.4参考資料
畦高を超過する場合の流出量は、畦高越流量と排水口からの流出量とした。 ※水田流出簡易計算プログラム(農水省)

○平成25年7月降雨において田んぼダム設置前後の流出解析を実施

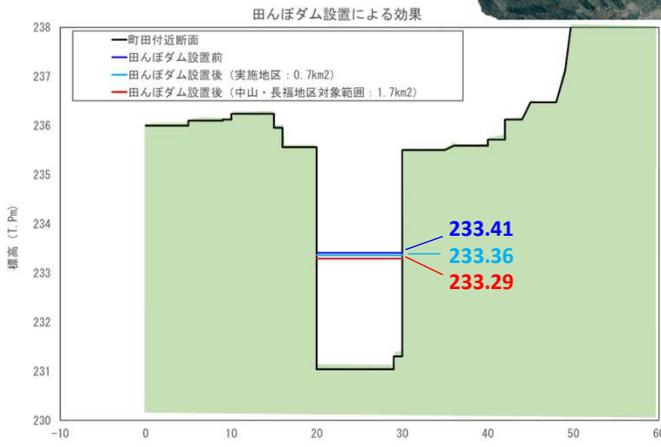
田んぼダム取組実施地区(0.7km²)における効果



中山・長福地区対象範囲(1.7km²)における効果



○中山・長福下流地点で水位低減効果を確認



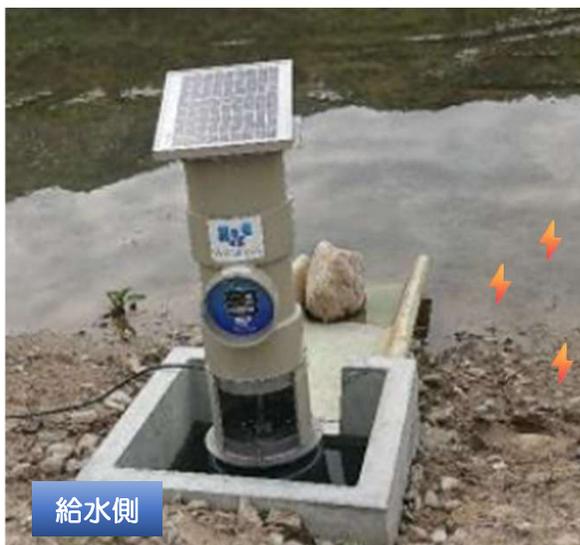
現在実施中の取組のみで約5cm、中山・長福地区全体で取り組んだ場合で約12cmの水位低減効果あり。

流域全体で、取り組みを進めていくことが重要である。

吉賀町



吉賀町では、高津川流域治水プロジェクトの実施にあたり、その取り組みとして田んぼダムに取り組みすることとしています。町内2地区において県営の圃場整備が実施されていますが、その真田地区、吉原・坂折地区の2地区においてスマート農業の事業を進めています。特に真田地区は、農業の省力化を目指し、2m畦畔の導入やターン農道、RTK-GNSS基地局の設置による自動運転農機の導入など先進的な取り組みを行っています。その中でも、スマートフォンでモニタリングしながら遠隔操作及び自動制御できる水管理システムを整備しており、今後の田んぼダムの取り組みに繋げることができればと考えています。現在、圃場整備は2地区とも工事中であり、その取り組み自体これからではありますが、先進的な取り組みとして、町内への波及効果も視野に入れながら、地域一体となった取り組みが出来ればと考えています。





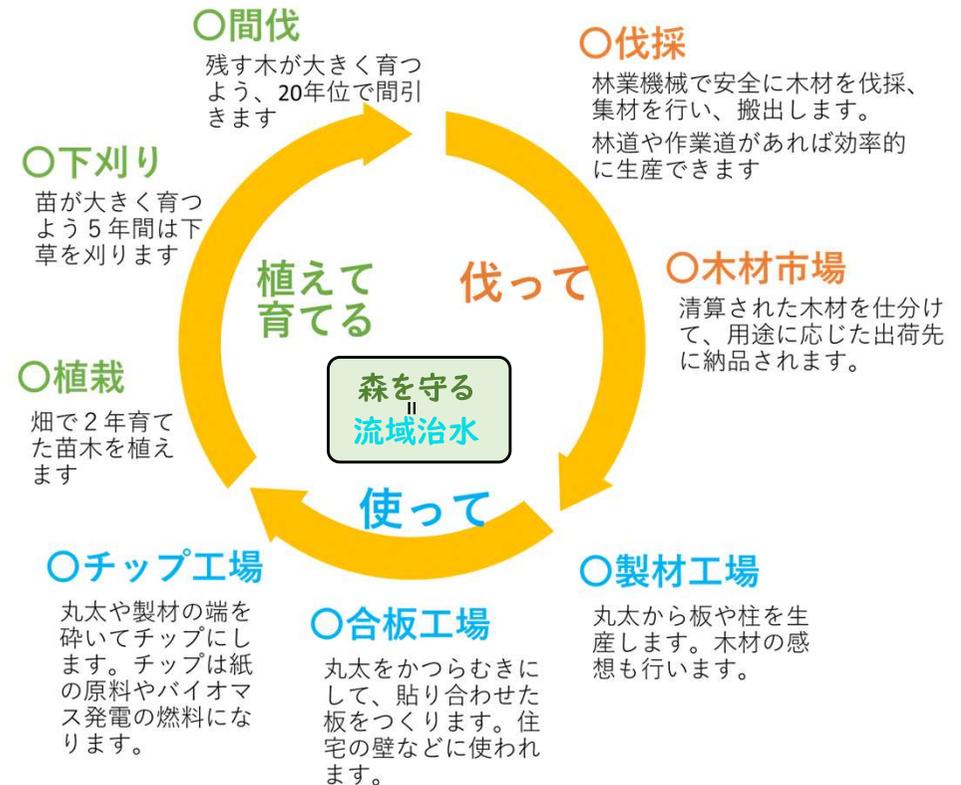
吉賀町は中国山地の南西部に位置する緑豊かな中山間地の自治体で、総面積の92%を森林が占めております。高津川流域では概ね皆伐面積200haに対して植林は1割にあたる20ha程度となっており、180haは天然更新の状況で、無立木状態の山肌に直接降雨があたります。土砂の流出は裸地の場合、307t/年haで

あり、およそ55,000tの土砂流出、場合によっては山崩れを引き起こし、保水力低下も相まって森林が持つ多面的機能は失われ、治水機能も確保できない状況となります。

こうした状況の中で吉賀町では、木材の再収穫、土砂流出防止、治水・保水力の維持の観点からも、利用時期を迎えた人工林における皆伐後の造林補助を上乗せし、積極的に再造林を推進し、循環型林業を支援しています。また、地域おこし協力隊制度、森林環境譲与税を活用した

「森師研修員」を育成し、山の仕事を増やす取り組みをしています。

木材生産による経済性と自然環境保全による環境性を両立させ、森林が持つ多面的機能の維持保全、治水機能の向上により国土保全と流域治水の取組に寄与できるよう事業を進めています。



森林学習やワークショップを通じて次世代の人材育成も進めています

島根県

【事業概要】

- ・津和野川は、一級河川高津川の支川です。平成25年7月豪雨では観測史上1位となる日雨量381mm、時間雨量91.5mmを記録し、浸水面積62ha、床上浸水13戸、床下浸水61戸という甚大な被害が発生しました。
- ・鷲原橋上流までは災害復旧助成事業により整備済みであり、引き続き上流側の河川整備を進めています。

【事業箇所】

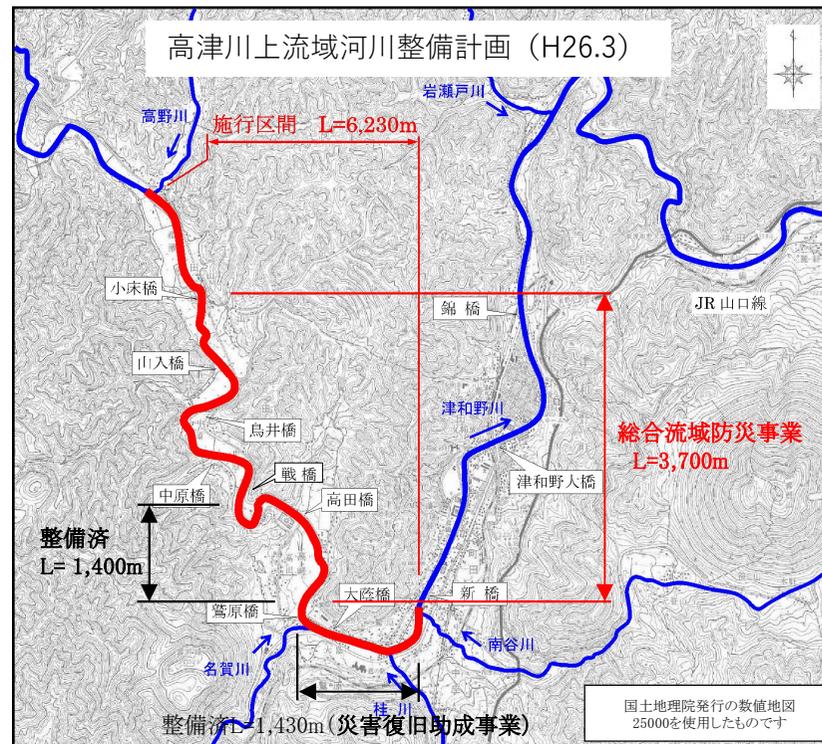
鹿足郡津和野町
高峯～田二穂～部栄地内

【事業計画】

- ・H26年度～
- ・延長：3,700m
- ・河道改修（護岸整備、築堤）

【R7年度事業内容】

- ・護岸工
- ・用地補償



戦橋上流 護岸工完成箇所

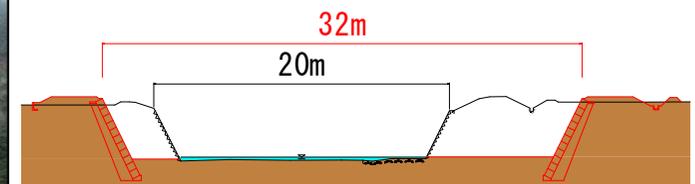


戦橋架替完了



【期待される整備効果】

- ・河川の拡幅等により、平成25年7月豪雨と同程度の洪水に対して家屋等への浸水被害を防ぎます。



【事業概要】

- ・一級河川高津川水系の白上川は、大道橋から二条川合流点までの区間が未改修であったため、近年では、平成11年6月、平成25年8月の豪雨により浸水被害が発生しました。
- ・沿川の家屋などの浸水被害を防ぐため、平成22年度より河道改修を実施しています。

【事業箇所】

益田市川登町～美濃地町地内

【事業計画】

- ・ H22年度～
- ・ 延長：1,350m
- ・ 河道改修
(堰撤去、護岸整備、築堤)

【R7年度事業内容】

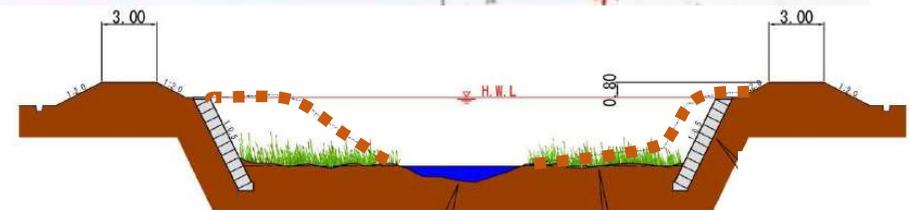
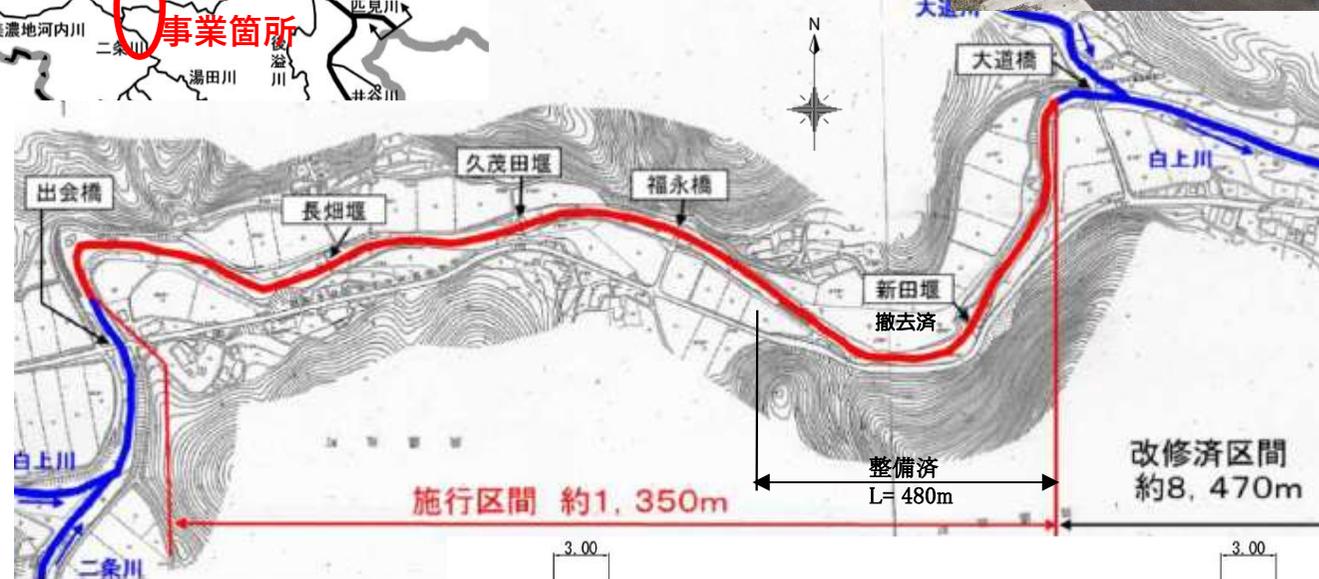
- ・ 護岸工
- ・ 橋梁下部工

【期待される整備効果】

- ・ 概ね10年に1回程度の確率で発生する洪水を安全に流下させることにより、家屋などの浸水被害を防止します。



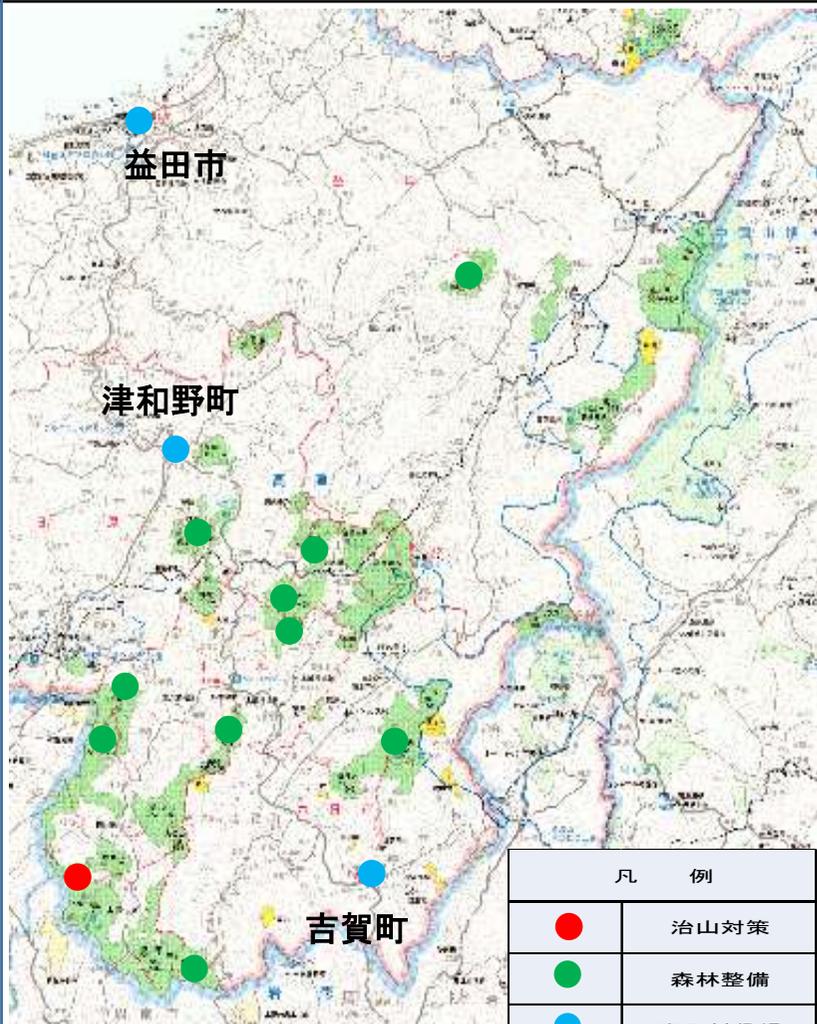
福永橋下部工、護岸工施工状況



島根森林管理署

- ……治山対策を実施し、土砂流出抑制効果を高めると共に、樹木の配置バランスを整える森林整備を行うことにより、豊かな下層植生を創出し、森林の浸透能の向上を図っています。

実施位置図



凡 例	
● (Red)	治山対策
● (Green)	森林整備
● (Blue)	市町村役場

実施状況(令和6・7年度)

溪間工事



丸太筋工



- 溪間工事 1基 528.2m³
- 森林整備
 - 除伐 34.11ha
 - 除伐Ⅱ類 4.11ha
 - 植付 5.58ha
 - 下刈 4.46ha
 - 本数調整伐 5.42ha
 - 丸太筋工 0.32km

令和8年度の事業予定

- ・山腹工事 1箇所 0.06ha
- ・森林整備
 - 保育間伐(活用型)18.91ha 保育間伐(存置型)77.22ha
 - 下刈7.78ha 除伐5.55ha 保護伐10.97ha 誘導伐3.34ha

松江地方气象台

■地域防災支援の取組

平時

- ・市町村等との「顔の見える関係」構築・深化
- ・災害リスクや情報利活用の研修・演習
- ・防災計画や避難情報の判断・伝達マニュアル等への助言
- ・関係機関等との連携した取組

緊急時

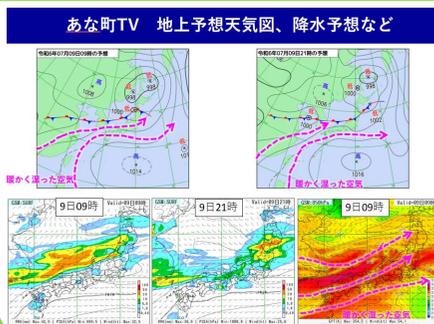
- ・記者会見による呼びかけ
- ・ホットラインによる首長への助言
- ・J E T T (気象庁防災対応支援チーム)の派遣

災害後

- ・自治体等と共同で「振り返り」を実施

地域防災支援業務の強化

YouTubeを用いた気象解説



警報級の大雨・大雪等になるおそれがある場合に、防災担当者を対象にYouTubeで気象解説を行っています(あなたの町の予報官TV)。いつ、どこで、どれほどの現象となる見込みなのかをなるべく詳細に説明します。

出前講座や気象台見学など



地域の防災力の強化を目的として県内で出前講座や気象台見学などを実施し地域住民の方々、自治体等の行政機関を中心に防災の知識についての普及啓発を実施しています。

積極的なJ E T Tの派遣



【島根県災害対策本部会議へ派遣】

令和7年8月10日から12日にかけての前線と低気圧による大雨では、島根県へJETTを派遣して気象解説等を行いました。令和6年能登半島地震では、継続的にJETTを派遣しました。

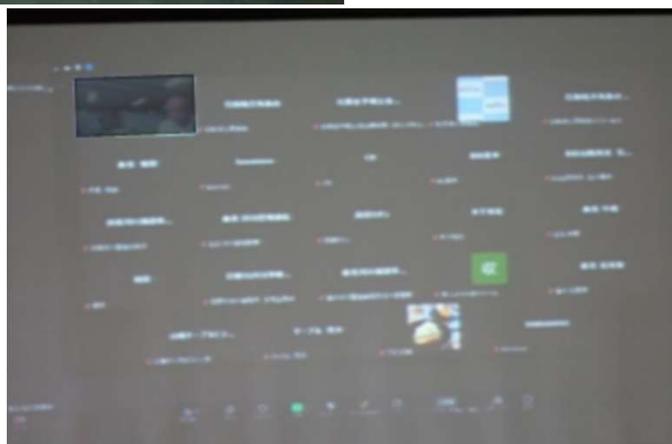
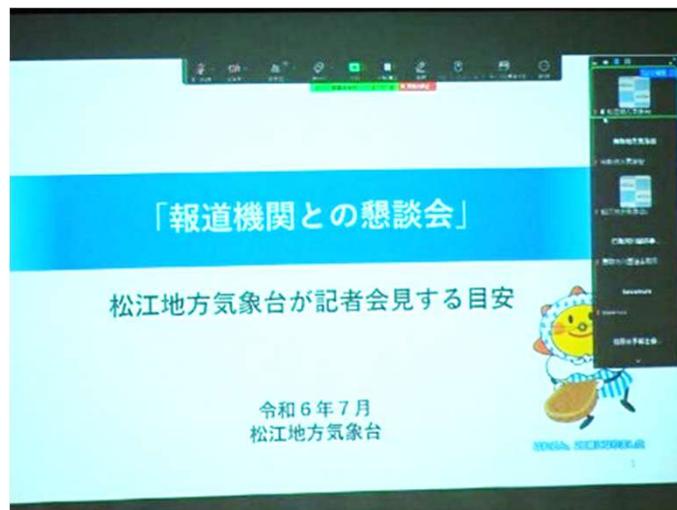
「振り返り」の業務改善への活用

- ・災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック



令和7年8月10日から12日にかけての前線と低気圧による大雨について県内市町村担当者と共に振り返りを実施し、市町村の避難状況や活動を把握するとともに気象台への提案やニーズについて意見交換を実施しました。

- Web会議ツールで「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・国道事務所と共同開催しました。
 - ・報道機関に、水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携の強化を図っています。
- 島根県CATV協議会と定期的（年4回）に番組制作を実施しています。



【開催実績と気象台からの話題提供等】

- 第9回 令和7年2月14日 「地震関連情報について」、
「新たな防災気象情報の体系運用について」
- 第10回 令和7年6月5日 「新しい防災気象情報」について」、
「令和6年度の大雨と今年の夏の天候について」

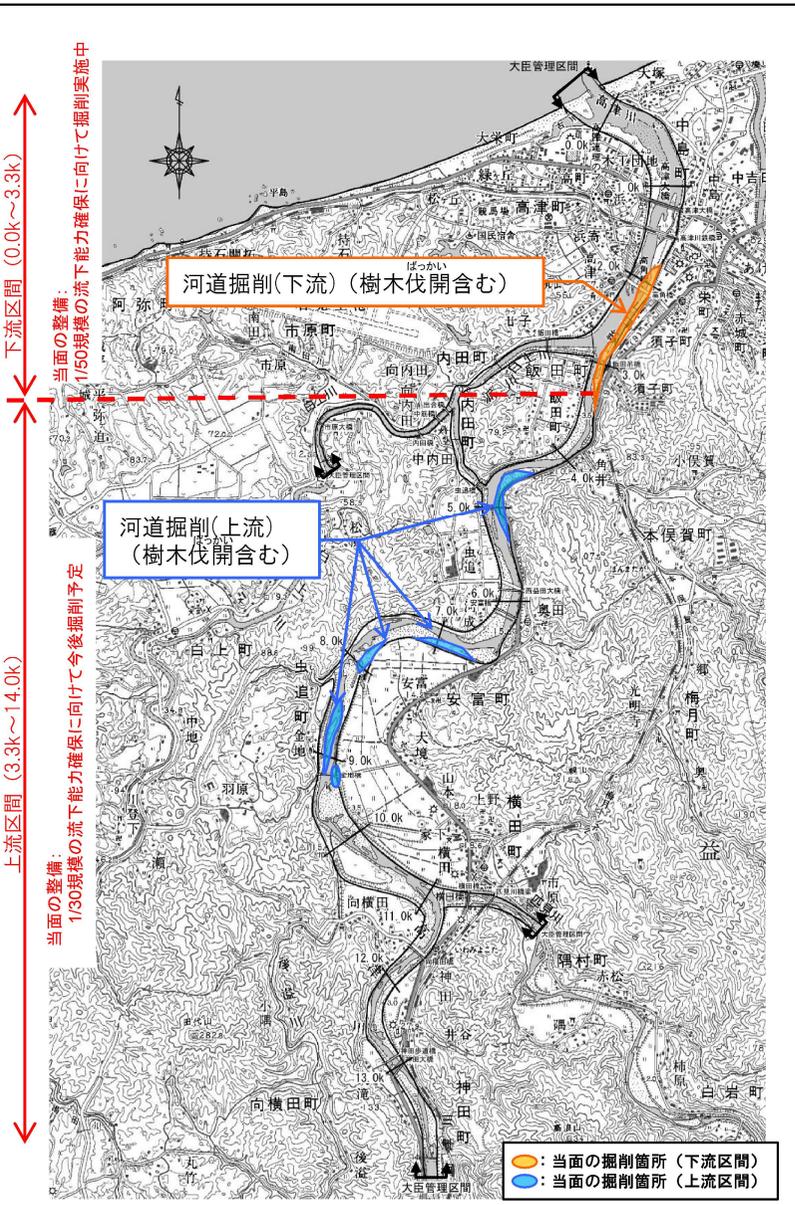
【季節ごとに3か月予報を組み込み年4回制作し、ケーブルテレビ協議会各局で放送】

- 令和7年3月 3か月予報、「桜」
- 令和7年6月 3か月予報、「地上観測測器の紹介」
- 令和7年9月 3か月予報、「高層気象観測機器の紹介」
- 令和7年12月 3か月予報、「放射冷却」

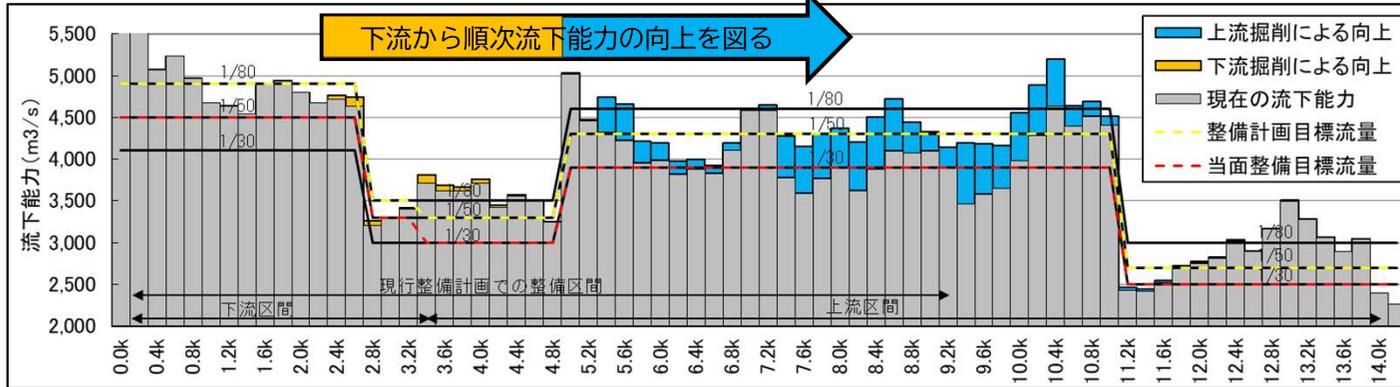
浜田河川国道事務所

- 高津川では、段階的に流下能力を向上させるべく、下流区間（益田市街地区間）の河道掘削を実施中です。
- 河道掘削が完了することで、下流区間の治水安全度は年超過確率1/50程度への向上が見込まれます。
- 引き続き、上流区間の治水安全度を年超過確率1/30程度へ向上させるべく、河道掘削を進めていきます。

○当面の掘削実施箇所



○高津川流下能力(HWL評価)



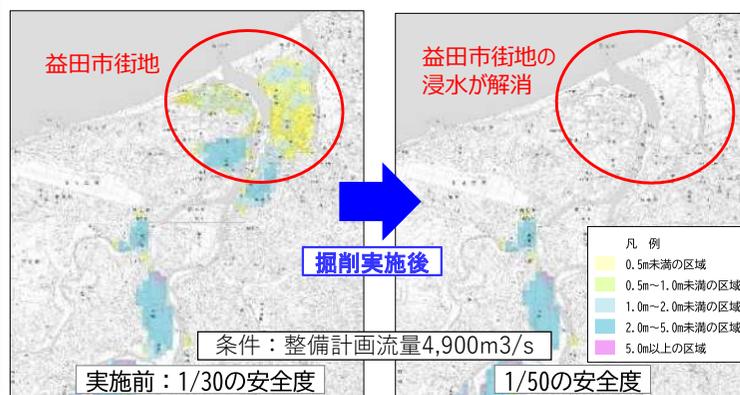
○下流部の河道掘削完了箇所



○下流部の河道掘削実施中の箇所(須子地区)



○下流部の河道掘削実施による浸水区域の変遷



○伐採木の無料配布

掘削箇所の樹木は公募伐採や無料配布を実施



(伐採木の配布状況)



(PRポスター)

- 高津川では、「自転車による健康増進・地域振興」や「水辺空間を活用したレクリエーションによる賑わい創出」を目指し、「益田市自転車活用推進計画」に基づく新たなサイクリングコースの設定やレクリエーション等に活用できる水辺拠点の創出により、地域の活性化を図るためのハード整備等を実施します。
- 令和7年度は、高津箇所（やぶさめ公園付近）の親水護岸及び管理用通路を整備し、横田箇所（豊田公民館付近）の階段拡幅を実施しました。また、「益田市高津川かわまちづくり利活用・維持管理推進協議会」を開催し、かわまちづくりの推進のため、行政・地域・NPOなど、関係する各分野の主体が集まり、利活用や維持管理について協議しました。

施設整備メニュー

1. 管理用通路（国）

サイクリングや高水敷利用等ができるように管理用通路（スロープを含む通路）を整備する。

2. 高水敷調整、親水護岸（国）

水辺空間を活用したレクリエーションやイベントが可能な多目的利用の場として、高水敷や傾斜の緩やかな親水護岸等を整備する。

3. サイン・案内板（益田市）

サイクリングコースのサイン（路面標示等）や水辺拠点の利用案内板を整備する。

4. 整地（益田市）

快適に高水敷利用ができるように整地する。

5. 利用施設（益田市）

サイクリストが休憩時に利用するサイクルスタンドを設置。水辺利用者が利用しやすくなるよう既存トイレを改修する。

益田市高津川かわまちづくり
利活用・維持管理推進協議会

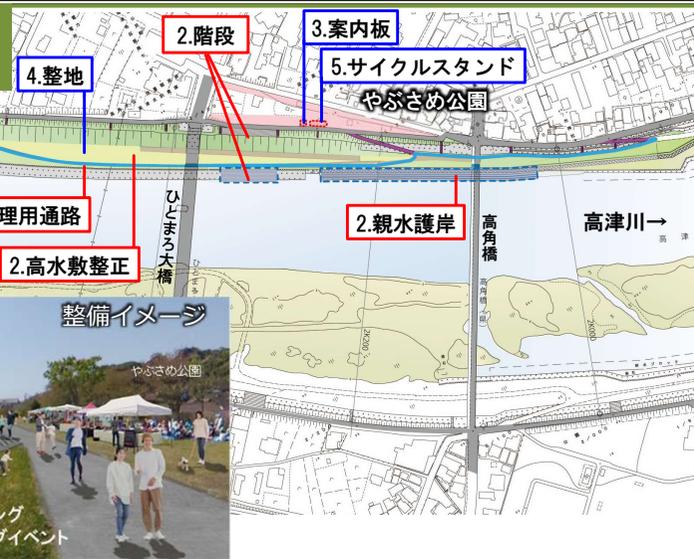


行政・地域・NPOなどの関係主体が集まり、
利活用や維持管理について協議しました。



事業期間：令和5年度～令和14年度

水辺拠点の創出（高津箇所） 【やぶさめ公園付近】



水辺拠点の創出（横田箇所） 【豊田公民館付近】

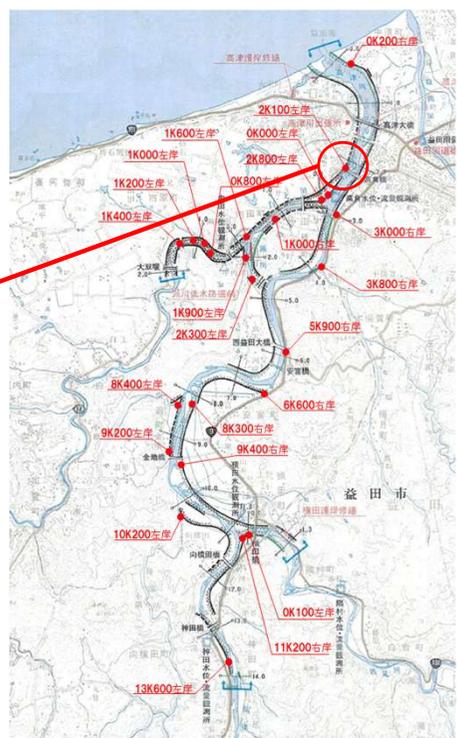


- 河川監視の強化、河川水位の把握等を目的とした危機管理型水位計と簡易型河川監視カメラの設置を実施しています。
- 河川水位やカメラ画像は、「川の防災情報」 <https://www.river.go.jp/index> にて閲覧可能です。
- 令和8年度から順次、機能向上したものに更新を行います。

危機管理型水位計

- 洪水時に円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計を設置。
- 危機管理型水位計は、河川堤防天端（堤防の最上面）からの水位を測定するもので、河川の水位が上昇し、観測水位に到達すると10分間隔で水位を観測する。
- 現在までに24箇所設置済み。（浜田河川国道事務所管内）

「川の防災情報」にて
閲覧可能↓



簡易型河川監視カメラ

- 近年豪雨災害では、洪水の危険性が十分に伝わらず、的確な避難行動につながらないことが課題となっている。
- 簡易型監視カメラの整備により、多くの地点で河川の状況を確認することで、従来の水位情報だけでは伝わりにくい「切迫感」を共有し、今後も継続的に情報提供することで円滑な避難を促進する。
- 現在までに15箇所設置済み。（浜田河川国道事務所管内）

簡易型河川監視カメラ



「川の防災情報」にて
閲覧可能↓

- 流域内住民等の参画を促し、流域治水の取組のさらなる推進および加速化を図るため、流域治水模型や降雨体験機を活用し、地元イベント等で流域治水について説明しています。

流域治水模型



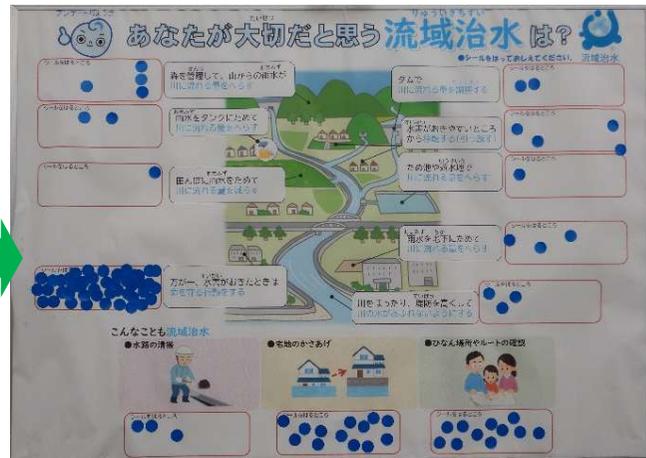
流域治水模型



令和7年10月12日 ひとまろフェスタ



令和7年10月3日
担い手育成フェア@グラントワ



令和7年10月3日 担い手育成フェア
参加児童へのアンケートで最も多い回答は『水害がおきたときは命を守る行動をする』

降雨体験機



令和7年5月29日
全国安全週間説明会@益田水防センター



令和7年10月12日 ひとまろフェスタ

- 防災意識の向上を促し、流域全体で避難体制の強化を図ることを目的に、地域住民の方々を対象にしたマイ・タイムライン作成会や流域治水の出前講座を実施しています。
- 作成会では、マイ・タイムラインの作成方法のほか、洪水時の情報収集方法や避難判断基準などを説明しています。
- 令和7年度は、高津川流域で2回（のべ約40名）実施しました。

●外国人向け防災講演会



【令和7年6月15日】

●高津川の水防災への備えとマイ・タイムラインについて



【令和7年7月12日】

住民の皆さんの災害に関する意識向上を目指します。

- 流域の関係機関がタイムライン（「いつ、誰が、何をするか」を時系列で整理した計画）を円滑に運用するため、『高津川水害タイムライン運用支援システム』を公開しています。
- 本システムには、水位や河川監視カメラなどの情報が集約されており、関係機関の行動に関連する情報を確認することが可能です。

高津川水害タイムライン運用支援システム

(1) アクセス方法

- ▶ 浜田河川国道事務所ホームページの『トップページ』>『防災情報』>『江の川(下流)・高津川水害タイムライン運用支援システム』から本サイトへアクセスできる。（下記URLから直接アクセスも可）

(2) サイトURL

- ▶ <https://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/bousai/timeline/index.html>

(3) コンテンツ・掲載データ

機能	情報
タイムラインを見る	タイムライン詳細版、簡易版、運用方法
水位が分かる	水位（川の水位情報）
現地状況が分かる	CCTV、簡易型河川監視カメラ、いわみる 等
道路情報が分かる	中国地方整備局道路情報提供システム 等
気象情報が分かる	気象警報、早期注意情報、洪水予報、キキクル 等
台風の進路が分かる	台風経路（リンク：気象庁）
停電情報が分かる	停電情報（リンク：中国電力ネットワーク）
河川状況を動画で確認	水位観測所の状況（YouTube）



PC・スマートフォンの両方に対応

⇒現地で出水対応にあたる水防団や、一般の方々も活用可能

江の川・高津川水害タイムライン運用支援システム

タイムラインの確認

河川監視カメラの確認

気象情報（気象庁）

停電情報（中国電力ネットワーク（株）提供）

機能一覧:

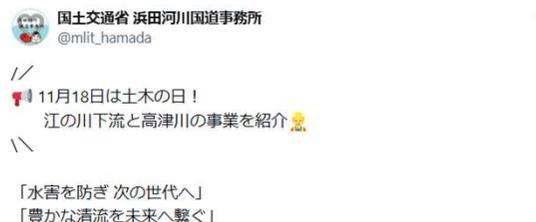
- タイムラインを見る
- 国土交通省 川の防災情報
- 水位が分かる
- 現地状況が分かる
- 道路情報が分かる
- 気象情報が分かる
- 台風の進路が分かる
- 停電情報が分かる

- 現在、国土交通省 浜田河川国道事務所では、ホームページの他、SNSでは、X（エックス）（旧Twitter（ツイッター））とYouTube（ユーチューブ）を主な広報ツールとして採用し、『流域治水』について積極的な情報発信を行っています。浜田河川国道事務所のホームページのトップにある右下のバナーから、簡単にアクセスすることが可能です。
 - 浜田河川国道事務所 <https://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>
 - X（旧Twitter） https://x.com/mlit_hamada
 - YouTube https://www.youtube.com/@mlit_hamada



浜田河川国道事務所HPトップ画面

X（旧Twitter）の広報
Xでは、リアルタイムな道路情報を中心に様々な情報を発信している。、『流域治水』に関連する内容についても、#（ハッシュタグ）をつけて情報発信を行っている。



高津川の事業紹介
2025年11月18日投稿

YouTubeの広報

YouTubeでは視覚的にわかりやすい動画による情報発信を行っている。一例として、高津川で繁茂する特定外来生物のオオキンケイギクから、クレヨンを作成する動画の投稿を行っている。



多くの人に興味を持ってもらえるように動画を作成

特定外来生物オオキンケイギクで!?
クレヨン作り
2024年9月11日投稿



X（旧Twitter）トップ画面



YouTube トップ画面



- 国土交通省では、水生生物による水質判定の実施を目的に昭和59年から小中学生を主に対象とした水生生物調査を実施しています。
- 令和7年度は、益田市立西益田小学校の児童14名と調査を実施しました。

・水生生物調査実施状況【西益田小学校】



開催日 令和7年7月16日
 団体名 益田市立西益田小学校
 人数 14人
 場所 匹見川（益田市横田）



きれいな水（階級Ⅰ）

- ヨコエビ類
- ヒラタカゲロウ類

きたない水（階級Ⅲ）

- ニホンドロソコエビ

総合判定

きれいな水（階級Ⅰ）

● は発見数が多かった生物

★参加児童の感想

- ・ 小さい魚がたくさんいた
- ・ 川底にごっごつした石が多かった

川の生きものを調べよう
水生生物による水質判定

この図表は、水生生物による水質判定の指標となる生物の種類と、それらが観察される水質の階級を示しています。生物の種類は、きれいな水（階級Ⅰ）、ややきれいな水（階級Ⅱ）、きたない水（階級Ⅲ）に分類されています。